



甲山愛楽サロン 車いす体験学習 5月14日(火)



5月14日(火)、甲山愛楽サロンにおいて、甲山自治センターの中や屋外を利用し、車いす体験学習を実施しました。地域の方が安心してサロンに参加できるよう、基本的な車いすの操作や必要な声かけなどを学び合いました。



目次

令和5年度世羅町社会福祉協議会事業報告・決算……………2	地域型支援センターさくら……………7
ボランティア活動報告/福祉体験学習……………4	社協フェスタ開催のご案内……………8
さくらんぼ通信……………5	世羅町社会福祉協議会からのお知らせ……………9
「権利擁護センターほっと」からのお知らせ……………6	宇津戸地区在宅福祉ひまわり連絡会活動紹介……………12

(広告)

世羅町に
司法書士事務所
オープン
しました!
司法書士 飯田 一生
広島司法書士会所属



令和6年 4月1日より
相続登記義務化
が始まります。
相続登記 遺言
空き家問題 成年後見
で困りの方 ご相談ください!

業務のご案内
◆不動産の名義変更
◆相続登記・遺言
◆借金の整理
◆成年後見
◆簡易裁判所訴訟代理
◆会社の登記 など

司法書士法人 新設代理店番号 第524014号 司法書士登録番号 828号
広島北部司法事務所 世羅事務所

〒722-1121 広島県世羅郡世羅町大字西上原456番地3
TEL 0847-22-4505 要予約

定休日
土日祝日

心に寄り添い。ココロでおくるお葬式を。

セレモニー・サービス 風の里
— 葬儀の相談を無料で承ります —
まずはお電話で、ご希望の日時・場所をお伝えください
〒722-1122 広島県世羅郡世羅町大字小世良80番地1
24時間 電話 0847-25-5655
365日受付 0120-931-924

みんなと進める地域づくり ふれあい・いきいきサロン

- 小地域サロン開催状況
年間開催回数：614回
延べ参加者数：6,678名
- 常設サロン開催状況
年間開催回数：1,082回
延べ参加者数：13,551名
- 登録講師や保健師等の派遣を行い、サロン活動の支援や世話人の負担軽減につなげました。（101件）
- サロンお楽しみ会を開催し、サロン参加者によるステージ発表や作品展示を行いました。



相談に寄り添う体制づくり 権利擁護センター ほっと

- 中核機関として、権利擁護連携会議を年4回開催したほか、権利擁護講演会を開催し、35名の参加がありました。
- かけはしや成年後見制度等のサービス・制度の説明や利用のための支援、心配な親族がいる方などへの相談対応など延べ242回行いました。
- 福祉サービス利用援助事業「かけはし」
 - ・日々の金銭管理や相談対応のほか、新規契約の手続きや成年後見制度の申し立てに関する支援を行いました。
- 法人後見事業
 - ・日常的な支援のほか、施設入所、相続の手続き、債務整理、転居等の支援を行いました。

相談に寄り添う体制づくり 生活困窮者自立相談支援等事業

- 自立相談支援事業
 - ・相談内容に応じて法テラスや行政などの他機関や他制度へつなげました。
- 家計改善支援事業
 - ・収支の共有と見直しや、家計の改善に向けた助言などの支援を行いました。
- 就労支援事業
 - ・ハローワークの紹介や、求人票をもとに本人に合った職探しの支援を行いました。

みんなと進める地域づくり 地域あんしん活動～きずな～

- 宇津戸地区において支え合いマップの作成や、東広島市へ視察研修に行きました。
- 宇津戸地区、伊尾小谷地区に生活支援員が設置されました。
- 「西地域の生活を考える会」を開催し、黒川地区におけるボランティア輸送事業の取り組みについて共有しました。
- デマンドタクシーとまちなか循環バスの乗車体験を行いました。



みんなと未来につながる人づくり ボランティアセンター運営事業

- プラチナ大学世羅町校を4回開催し、他地区の取り組みを視察するなどして、地域デビューのきっかけづくりを行いました。
- 生涯学習講座（お茶講座・モルック講座）を開催し、延べ29名の参加がありました。
- かるやかてごねっと事業では、延べ391回の活動がありました。
（主な活動：病院の付き添い、薬の受け取り、ゴミの分別・ゴミ出し、居室の掃除・片付けほか）
- ファミリー・サポート・センター事業では、延べ186回の活動を行ったほか、年4回の研修会や交流会を開催しました。
- 手話体験講座（2回）を開催し、延べ44名の参加がありました。



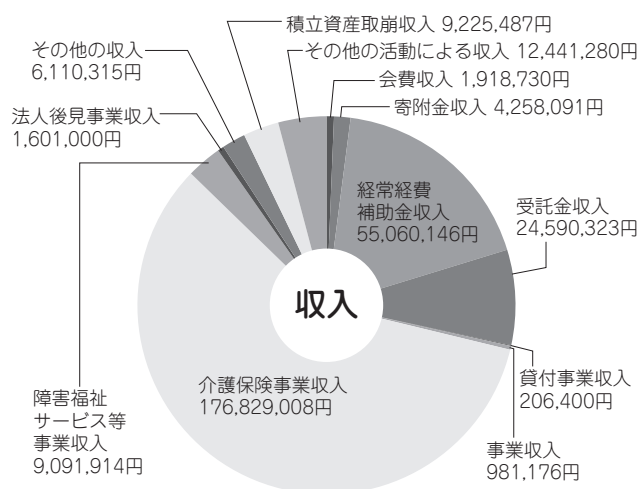
相談に寄り添う体制づくり 生活福祉資金貸付制度 緊急生活安定資金貸付制度 フードバンク事業

- 生活福祉資金、緊急生活安定資金の相談対応や貸付を行いました。
- フードバンク事業
（寄附受付件数:42件、提供件数:195件）

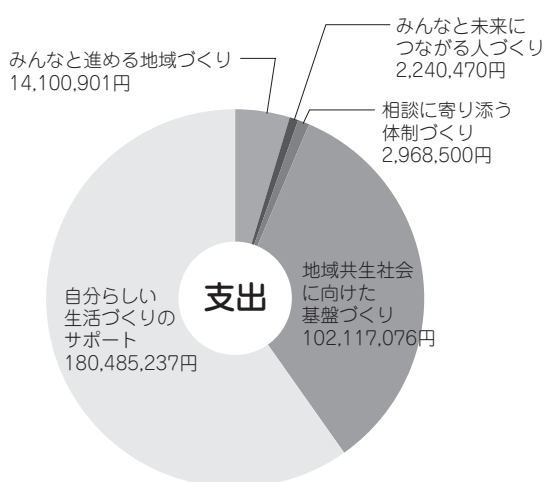
令和
5年度

事業報告・決算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)



収入計 302,313,870円



支出計 301,912,184円

※掲載している推進内容等は、事業活動の一部です。

詳細につきましては世羅町社協ホームページをご覧ください。



主な取り組み

自分らしい生活づくりのサポート 介護保険事業等 (ケアサポートせらら)

- 居宅介護支援事業
- 地域型支援センター
- 通所介護事業・介護予防通所介護事業
- 閉じこもり予防支援通所事業
- 認知症予防事業
- 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 障害福祉サービス事業
- 移動支援事業
- 身体障害者訪問入浴事業
- 地域生活支援システム事業
- 養育支援事業
- ひとり親家庭日常生活支援事業
- 子育て世帯ヘルパー等訪問支援事業



地域共生社会に向けた基盤強化

- 法人運営費
- 広報・啓発活動
- 社会福祉協議会の経営基盤強化
- 地域福祉活動計画の計画的推進
(PDCAサイクルの活用)

その他の事業

- ふれあい相談所の開設
(無料法律相談・相続なんでも相談)
- 福祉車両、福祉用具、レクリエーション用具、チャイルドシートの貸出
- 日本赤十字社活動資金 1,772,720円
- 献血推進事業
- 赤い羽根共同募金
 - ・ 赤い羽根共同募金運動 3,560,356円
 - ・ 歳末たすけあい運動 1,695,290円
- 世羅町福祉・介護人材確保等総合支援事業
- せらパラ（世羅高校生徒によるレクリエーション、ボッチャ体験）参加者：112名
- 町内小・中学校で福祉体験学習を開催



世羅西地区の方による能登半島地震ボランティア活動報告

世羅西地区にお住まいの3名の方々が、6月20日～21日、能登半島地震被災地での災害ボランティア活動をされました。石川県までの道のりは、1台の車を3人で交代しながら運転し、前泊後泊合わせ、3泊4日のボランティア活動となりました。金沢駅からボランティアバスに乗り、1日目は珠洲市、2日目は能登町で、主に地震で倒壊した家屋にある壊れた家財道具を分別しながら仮処分場へ運搬したり、高齢者世帯が仮設住宅へ引っ越される際のお手伝いをされました。

活動を終えた3名の方々より、つぎのようなお言葉をいただいたのでご紹介します。

金沢を出発し、珠洲市まで3時間を要した。まだまだ道路も復旧していない。

活動した集落は今までどおり生活できるのか？できないだろう！と、この家の主人は気持ちの整理ができないと顔を曇らせた。その不安そうな顔はさみしそうで心が痛んだ。

解体する前に、家の片付け、思い出の品の整理をしながら、今までのこの家の生活に感謝されていると言われた。物質的、体力的、精神的にも将来への不安が感じられた。マイナスからの出発は大変ですが、前を向いて、ときには白い歯に笑顔を添えて頑張って再建してほしいと思った。そのためにも私も微力ながら、私にできることを日々考えながら被災地に目を向けていきたいと思う。現地を離れるときの被災者の方の顔が頭から離れない。（世羅西在住 T.M.K）



金沢駅からバスに乗って
現地に向かいます



注意事項などの説明があります



被災された方の気持ちを
大切にしながら分別します

ボランティアセンターでは、地域の方々のボランティア活動を応援しています。ボランティアに関する相談、お問合せなどは、お気軽に世羅町社会福祉協議会（電話：0847-22-3162）までお寄せ下さい。

5/27 せらにし小学校3年生が福祉体験学習を行いました。

せらにし小学校3年生を対象に車いす体験とアイマスクと白杖を使った福祉体験学習を行いました。

車いす体験では、車いすの乗り方や押し方、注意点を説明しました。実際にスロープや段差を体験することで、車いすに乗る人の気持ちや車いすを押す時に気を付けるポイントを直に感じていました。

アイマスクと白杖を使った体験では、白杖を使った歩き方やサポートの仕方について説明をしました。実際に、段差を越え障害物をよける時には、サポートする人が細かく声かけを行い、アイマスクを付けた人が危なくないように現状を伝えていました。



福祉体験学習は交流や体験を通して、障がいや高齢に伴う心身の変化やその生活を知ること、「みんなが暮らしやすいまちづくり」を考えていくきっかけづくりを狙いで行っています。

学校以外に地域での福祉体験も可能です。ご希望の方はご相談ください。



第38号 令和6年7月号

世羅町ファミリー・サポート・センター



さくらんぼ通信

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって地域で助け合います。

活動報告

出産前、出産後、上の子2人を2ヶ所の幼稚園へそれぞれ送迎を依頼されました。家族での対応が難しい時に約1か月間、2人の子どもを2人の提供会員で送迎しました。



依頼会員（Hさん）より

産前、産後、動いてはいけないう状態だったので上の子2人の送迎を頼み助かりました。ありがとうございました。

提供会員 より

手を繋ぎ笑顔で色々な話ができるようになりました。この1カ月で子どもの成長を感じました。

研修会の開催報告

令和6年度第1回研修会「イマドキの子育て・孫育て」を開催しました。

6月24日（月）甲山自治センターにて、広島文化学園短期大学教授富田雅子様を講師としてお招きし研修会を開催しました。

今と昔の子育ての関わり方の変化を共有しました。親と一緒に子育てをする仲間として親が一番と自信をつけてあげる関わり方が必要であり、また、地域との繋がりを持つということも子どもの成長にかかせないことと学びました。



<参加者より>ファミサポの預かりは、安全に子どもがリラックスした時間を過ごし気負わず楽しくしていきたいと思えます。とても良いアドバイスをいただきました。

次回研修会のお知らせ

1部「交通安全講習」
「チャイルドシートの必要性について」



2部「提供会員の集い」
日 時：7月25日（木） 13時30分～15時30分
場 所：甲山自治センター 2階多目的集会室
講 師：世羅警察署 交通総務係長 桐野克裕 様
対象者：ファミサポ提供会員
子育てに関心のある方

次回交流会のお知らせ

楽しく身につけよう！親子で防災クイズ

日 時：9月1日（日） 10時～11時30分
場 所：甲山自治センター 2階多目的集会室
講 師：世羅町防災士会
会長 徳光 紗代 様
対象者：ファミサポ会員
子育てに関心のある方



会員募集

提供会員 子育て援助活動に理解と熱意のある方

依頼会員 生後6カ月から小学校6年生の保護者

連絡先・お問合せ先

世羅町ファミリー・サポート・センター（世羅町社会福祉協議会内） 電話（0847）22-3162

「権利擁護センターほっと」からのお知らせ

「終活」 これからの生活をよりよく安心して過ごすために、準備をしていきませんか？
年金を受け取る年齢が近づいてきたら検討してみましょう！

ポイント①

通帳や印鑑がたくさんありませんか？暗証番号を一
緒に保管していませんか？

できるだけ通帳の数を減らしましょう。暗証番号は別に保管しまし
ょう。



ポイント②

突然の入院などに備えていますか？

保険もあればいいのですが、自分が入院したときに
手続きやお金の支払い、戸締りやちょっとした買い物を頼める人がいま
すか？あらかじめ大事な保管物の場所を伝えておきましょう！



ポイント③

頼れる人、誰に連絡してもらおうか考えておきましょう。

例えばお子さんが複数いるならだれに頼むのか、「リーダー」を決めて前
もって頼んでおくとう安心です。お子さんなどが遠方であれば、近くに「リーダー」がいないと、
困ってしまうことがあるので注意が必要です。



準備を考えるのが一人では難しい方、心配な
方は一緒に考えたり、こういったサービスを活
用したらいいかを提案させてもらうこともでき
ます。

自分に何かあったときに、手続きやお金の支払
い・管理などをどう手伝ってもらおうか、元気な
うちに準備をしておくことが大事です。
だんだんと出来ないことは増えて当然なので、
助けられ上手を目指していきましょう！

社協で相談できます！

まずは相談してみるだけ、話を聞いてみる
だけでも大丈夫です。

担当職員がいないこともあるので、予約を
お願いします!!



お問い合わせ先
世羅町社会福祉協議会
本 所 0847-22-3162
世羅西支所 0847-37-1335

家族介護教室

地域型支援センターさくらでは、要介護1～5の介護認定を受けられた方を自宅で介護している家族を対象とし、介護方法や介護予防などについてのお話、創作活動を行っています。
今回は4月、5月の教室をご紹介します。

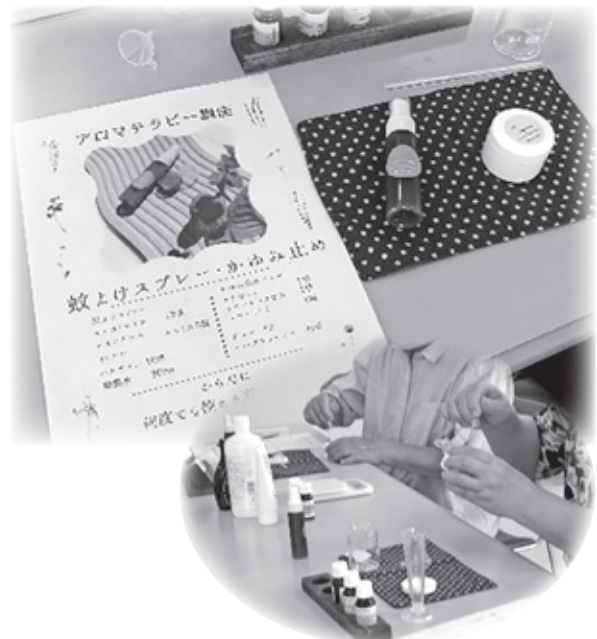
4月 「眠れていますか？ 良い睡眠のための健康管理」

3地区合同で開催しました。株式会社ヤクルト山陽の講師より、不規則な生活や生活習慣の乱れ、ストレスから不眠になることなどを教えていただきました。



5月 「蚊よけスプレー・かゆみ止めづくり」

本船薫さんにご指導していただきました。天然の植物を使っているのも、肌にも優しく小さな子どもから使えるそうです。この夏は、しっかり蚊よけ対策ができそうですね。



※7月「夏バテ防止について」 8月「手芸作品づくり」 9月「手・爪のお手入れ方法」を予定しています。参加をご希望される方は、下記までご連絡をお願いします。

「地域型支援センターさくら」ってどんなことするの？

「地域型支援センターさくら」は、高齢者総合相談窓口として関係機関等と連携し、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、ひとり暮らし高齢者だけでなく、高齢者世帯などの訪問・相談支援を行っています。

「訪問給食サービス」、「閉じこもり予防支援通所事業（さわやか・きらら・元気大学）」、「脳ひらめき教室」の申請のお手伝いをさせていただきます。詳しい内容をお知りになりたい方、ご利用を希望される方は、下記までご連絡ください。

★**家族介護者交流事業** 介護をしている方同士が交流することで、悩みを共有・軽減して疲れをいやし、リフレッシュしていただくための日帰り旅行を行っています。

（対象）在宅で介護認定1以上の方を介護しているご家族の方。

社会福祉法人 世羅町社会福祉協議会
（担当）甲山地区：泉 世羅地区：曽根
世羅西地区：増田

地域型支援センターさくら
電話：0847-22-5147
電話：0847-37-1335

世羅町社協

世羅町

来場プレゼント
あります!

合併20周年

社協フェスタ2024

場所：甲山自治センター

10月5日(土) 10時~15時

みんなの発表会(ステージ発表・作品展示)



詳しくは9月配布の
チラシにて
ご案内します!



体験コーナー



手話体験、ものづくり体験 など

飲食コーナー



キッチンカーも来るよ!!

出演者・出店者募集中

体験コーナーや飲食コーナーへの出店、ステージ発表していただける方を募集しています。
社協フェスタ2024のイベントを盛り上げてくださる方、是非お声掛けください! ※多くの方に申し込みいただいた場合は先着順といたします。
電話：0847-22-3162



世羅町社会福祉協議会会費や共同募金等のお願い

①世羅町社会福祉協議会 会費

(期間:8月1日～翌3月末)

住民のみなさまと一緒に、「支え合うみんなが主役の福祉の地域(まち)づくり」を推進するために、社会福祉協議会の活動にご賛同いただき、ご支援ご協力をお願いしています。

○ 一般会費 一世帯 500円

《会費の主な使い道》

- ◇ふれあい・いきいきサロン事業
- ◇かるやかてごねっと事業
- ◇社協だよりなどの広報・啓発
- ◇ふれあい相談所事業
- ◇社協フェスタ事業 など



ふくぼう©世羅町社協

②日本赤十字社活動資金

(期間:8月1日～9月末)

身近に災害が発生した際には、私たちも日本赤十字社の支援を受けます。発生が予測不能な大規模災害に備えるためにも、活動資金へのご協力をお願いしています。

○ 活動資金 一世帯 500円

《活動資金の主な使い道》

- ◇町内での献血活動等の事業費
- ◇災害時の救助活動
- ◇ボランティア育成
- ◇救急法講習会 など



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

③赤い羽根共同募金

(期間:10月1日～11月末)

戦後間もない昭和22年(1947)年に住民主体の運動として共同募金が始まりました。当初は、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、現在は、法律に基づき、地域福祉の推進のために活用されています。

○ 目標額 一世帯 800円



④歳末たすけあい募金

(期間:12月1日～12月末)

年末の時期をすべての人が安心して過ごせるようにという思いから始まった募金運動です。

○ 目標額 一世帯 500円

寄せられた募金は全額、広島県共同募金会へ送金し、次の年の福祉活動に活用されています。募金の約7割は世羅町内の福祉活動に、残りの3割は県内の広域の福祉活動や災害時のボランティアセンターの運営等に活用されます。

世羅町では、「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」と合わせて、町内の福祉活動に活用される他、災害支援活動等にも活用されます。

《募金の主な使い道》

- ◇各地区の福祉活動、ボランティア、福祉共育の活動費として
- ◇社協事業
ふれあい・いきいきサロン事業、かるやかてごねっと事業、災害ボランティアセンター事業の運営

【受付場所】

(1) 世羅町社会福祉協議会

- ・本所 世羅町西上原426-3 電話 0847-22-3162
- ・支所 世羅町小国3393 電話 0847-37-1335

※来所いただくことが難しい場合は、連絡をいただきましたら職員がお伺いします。

(2) 尾道市農協

- ・世羅町内の各支店(甲山支店・世羅支店・世羅西支店) A T M



地域のみなさまには、8月・10月・11月の文書により改めてお願いをさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

※実施時期は変更する場合があります。

献血のご協力ありがとうございました



5月24日（金）に、甲山農村環境改善センターと世羅保健福祉センターにおいて、400ml献血を実施しました。

参加者：計67人（うち献血者：62人）

	午前	午後
場 所	甲山農村環境改善センター	世羅保健福祉センター
参加者	39人	28人
献血者	36人	26人

※体調などに問題があった方に対しては、健康面を配慮して献血をご遠慮していただいています。

次回の献血情報

月 日	時 間	会 場
11月22日 （金）	9時30分～12時	甲山農村環境改善センター
	14時～15時30分	世羅保健福祉センター

お問い合わせ先

- 世羅町社会福祉協議会(世羅町献血推進協議会)
【本所】TEL:(0847)22-3162
【支所】TEL:(0847)37-1335
- 世羅町健康保険課 健康増進係
TEL:(0847)25-0134

まち地域づくり講演会

日時：8月24日（土） 9時30分～12時

場所：甲山自治センター 2階 多目的集会室（西上原426-3）

講師：ご近所福祉クリエーター ^{さかい たもつ} 酒井 保 氏

内容：講演会 「生き・生き・元気な地域づくりのための“3つのポイント”」

事例発表「世羅町生活支援コーディネーターの取り組み紹介」

意見交換「自分たちができること、あったらいいなと思う取り組み」

※詳しくは、7月配布のチラシをご覧ください。



新規採用職員

令和6年7月1日付

- 事務局部門
梶谷 久仁（福祉係）
- 事業所部門
吉野 考史（総務係）

退職職員

令和6年4月30日付

- 事業所部門 植田 香代子

新評議員の紹介

（敬称略）

●新評議員の紹介

任期：令和6年6月18日～令和7年6月の
定時評議員会の終結時まで

評議員

梶原 篤美（大見地区）
福服喜久美（津名地区）

【退任】

評議員 椎木 章（大見地区）
松本 哲彦（津名地区）

退任されました評議員のみなさま、ありがとうございました。



つぎの方々より、社会福祉協議会へのご寄附、フードバンク・物バンクへのご寄附をいただきました。地域のみなさまの福祉のために、大切に活用させていただきます。

今回は、令和六年三月～令和六年五月末までにご寄附いただいた方を掲載しています。

なお、まことに勝手ながら敬称ならびに、金額・物品の内容は省略させていただきますので、ご了承ください。(敬称略)

◎香典返し

伊尾 門藤 淳史 (故 純)
重永 金田 満里子 (故 和彦)
宇津戸 田坂 久男 (故 艶子)
西上原 米重 康孝 (故 孝治)
重永 堀 一吉 (故 玉枝)
安田 風呂 迫能伸 (故 幸雄)
本郷 松尾 八重子 (故 恒明)
徳市 瀬尾 正照 (故 保)
上津田 石橋 恒也 (故 鎮城)
伊尾 東 芽久美 (故 槌三)
青近 中尾 小夜子 (故 敬敏)
重永 有田 孝志 (故 アサキ)
別迫 繁好 信吾 (故 肇)
重永 堀 トモ子 (故 美迫行登)
宇津戸 瀬戸 眞治 (故 ハルコ)
西上原 永森 修平 (故 洋子)
赤屋 藤高 弘子 (故 敬幸)

◎見舞返し

寺町 田島 弘子 (故 敏幸)
西上原 貞末 恵子 (故 愛子)
大阪府 川越 康男 (故 永吉)
安田 眞野 潔 (故 ミツエ)
伊尾 岡田 すま子 (故 芳弘)
高知県 中野 俊幸 (故 美千子)
井折 堀川 淳一 (故 ヨシエ)
小国 山下 義心 (故 典子)
小国 竹保 伸二 (故 實平壽枝)
小国 松田 敏子 (故 山本 勝)
匿名 3件

◎その他

藤沢市 ㈱小林商行 3件
福山市 内海 和男
福山市 広島県東部福祉研究会 2件
安田 大見 振興協議会
伊尾 井手 清子
津口 津久志 バレーボールクラブ
合計 五五〇、〇二九円

◎フードバンク

東神崎 寄重 輝美
赤屋 内海 武博
匿名 10件

◎物バンク

匿名 5件

☆本会への寄附金は、所得税・住民税・法人税の寄附金控除が受けられます。

生活に困っている方へ食料品を寄附していただけませんか？



本会ではコロナの影響、病気等で生活が苦しく、十分な食料品を購入できない方へ、**フードバンク事業**を通じて食料品の提供を行っています。特に**お米(令和5年度産)**や手軽に食べる事のできる、**インスタント食品**が不足しております。ぜひ、協力をお願いします!!



令和6年度 ふれあい相談所開設予定

月	日	曜日	重点相談	開設場所	開設時間	関係機関
7	31	水	無料法律相談(要予約)	社会福祉協議会本所	10時～16時30分	弁護士法人リーガルジャパン
8	28	水	無料法律相談(要予約)	社会福祉協議会世羅西支所	10時～16時30分	弁護士法人リーガルジャパン
9	25	水	相続なんでも相談(要予約)	社会福祉協議会世羅西支所	13時30分～17時	尾道公証役場

※お困りごとがある際は社会福祉協議会の職員が随時相談対応いたします。お気軽にお越しください。

【お問合せ先】

- 本所 〒722-1121 世羅郡世羅町西上原426-3 世羅町社会福祉協議会本所 ☎22-3162
- 支所 〒722-1701 世羅郡世羅町小国3393 世羅町社会福祉協議会世羅西支所 ☎37-1335



「小さな親切」運動
広島中部支部の方より
清掃用具を寄贈いただきました。
ありがとうございました。

【広告】



印刷の原点を大切に、
新しい時代への進化を成します

シンセイアート株式会社

www.shinseiart.com E-mail: info@shinseiart.com

本社・工場 〒727-0004 広島県庄原市新庄町5088-58
TEL.0824-72-7890 FAX.0824-72-2128

三次営業所 〒728-0013 広島県三次市十日市東六丁目13-35
TEL.0824-62-3716 FAX.0824-62-5635

パッククッキングで、災害時の食に備える!

宇津戸地区在宅福祉ひまわり連絡会

6月18日（火）に、宇津戸地区在宅福祉ひまわり連絡会は、常設サロン「サロンかしの木」と合同で、「災害時の食」と題し、研修を行いました。まずは、世羅町健康保険課より「防災×健康づくり」として、災害に対する備蓄品として、どんなものがどのくらい必要なのかなどのお話しをしてくださいました。

その後、パッククッキングについて、説明があり、さっそく調理を始めました。この日に調理したものは、ごはん、親子煮、小松菜と人参の和え物、りんごのコンポートの4品です。主食から副菜、デザートまで、様々な調理に対応しています。普段とは違う調理方法ということで「大丈夫かな?」「ちゃんと火が通るかな?」と心配もありました。しかし、出来上がるとびっくり!お米や野菜にしっかりと火が通り、調理ができました。

作り方は簡単ですが、作ってみるまでは不安もあるかもしれません。一度でも作ってみることで、いざというときにスムーズに調理することができます。みなさんもぜひ、作ってみてくださいね。



パッククッキングってなに?

パッククッキングとは、耐熱性のポリ袋の中に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんをする調理方法です。普段の食品が使い、加熱に使った水が汚れないので、再利用できます。また、袋のまま食器によそうと、食器が汚れないというメリットもあります。

ただし、ポリ袋は必ず耐熱性のものをご使用ください。



※この活動には、みなさまからご協力いただいた赤い羽根共同募金が活用されています。

【広告】

世羅町社協のLINE公式アカウント

社会福祉法人
世羅町社会福祉協議会

世羅町社協



@169wowht



編集後記

世羅西地区の3名の方が、6月に石川県珠洲市、能登町へボランティア活動に行かれました。

事務的な支援だけでなく、当日に向けた様々な関わりの中で、災害ボランティア活動に対する強い思いを感じました。暑い中での活動だったそうですが、帰って来られた時の充実感に満ちあふれた顔を見ると胸が熱くなりました。(橘高)